



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <http://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 勝康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・IR部長 (氏名) 相川 千絵 (TEL) (052) 933-6519
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	59,603	3.2	9,171	8.4	11,533	19.4	7,521	50.1
26年3月期第2四半期	57,743	—	8,463	—	9,661	—	5,012	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 8,752百万円(65.5%) 26年3月期第2四半期 5,287百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	76.57	71.03
26年3月期第2四半期	51.72	49.80

(注) 平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。また、平成26年1月1日をもって、当社株式を1株につき2株の割合で分割しております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	357,616	89,753	23.1
26年3月期	300,774	81,395	24.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 82,519百万円 26年3月期 74,389百万円

(注) 第1四半期連結会計期間より会計方針の変更を行っているため、平成26年3月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	16.00	46.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年1月1日をもって、当社株式を1株につき2株の割合で分割しております。平成26年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,900	0.1	15,500	2.0	18,000	7.0	11,200	28.2	114.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第1四半期連結会計期間より会計方針の変更を行っているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は、遡及修正後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Resorttrust Hawaii, LLC、除外 社(社名)

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	103,411,496株	26年3月期	103,411,496株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,999,414株	26年3月期	5,316,944株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	98,234,639株	26年3月期2Q	96,921,986株

(注) 当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(http://www.resorttrust.co.jp/ir/)
- ・株式分割について、当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	14
(1) 販売実績	15
(2) 契約実績	16
(3) ホテル別 売上高・消費単価	17
(4) ホテル別 宿泊客数・室稼働率	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

※当第2四半期連結累計期間の「期初計画」については、平成26年5月15日の公表数値に基づいております。なお、平成26年10月15日付で業績予想の修正を行っております。

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (期初計画)	前年同期比	計画比
売上高	57,743百万円	59,603百万円	58,600百万円	+3.2%	+1.7%
営業利益	8,463百万円	9,171百万円	8,100百万円	+8.4%	+13.2%
経常利益	9,661百万円	11,533百万円	8,500百万円	+19.4%	+35.7%
四半期純利益	5,012百万円	7,521百万円	5,200百万円	+50.1%	+44.6%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の反動減で緩やかに回復しつつありましたが、天候不順などにより個人消費の回復ペースは緩慢でした。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況は、当初想定していた、消費税増税前の駆け込み需要の反動による消費の落ち込みの影響が一定程度に収まったこと、前年同期にホテルの開業費用が計上されていたのに対し当期は開業が無かったことに加え、開業ホテルが収益に寄与したこと、また、営業外収益で為替差益を計上した一方で、未開業ホテルの会員権収益の一部が開業まで繰延べられることなどにより、売上高は59,603百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は9,171百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は11,533百万円（前年同期比19.4%増）、四半期純利益は7,521百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、遡及処理後の数値で前年同期比較を行っております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、「セグメント利益」は「営業利益」であります。

当社グループは第1四半期連結会計期間において報告セグメントを変更しております。前年同期比較に当たっては変更後のセグメント区分で記載しております。なお、「セグメント情報」に関する詳細は「3. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）【セグメント情報】」の「4 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (期初計画)	前年同期比	計画比
売上高	16,985百万円	16,837百万円	16,820百万円	△0.9%	+0.1%
セグメント利益	2,921百万円	3,058百万円	2,690百万円	+4.7%	+13.7%

会員権事業におきましては、ホテル会員権の販売量が前年同期と比較し増加した一方で、未開業ホテルの会員権収益の一部が開業まで繰延べられることなどにより減収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (期初計画)	前年同期比	計画比
売上高	31,851百万円	32,476百万円	32,150百万円	+2.0%	+1.0%
セグメント利益	3,149百万円	3,629百万円	3,390百万円	+15.3%	+7.1%

ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期において、2013年4月にサンメンバーズリゾート施設「リゾートピア箱根」がリニューアルオープンし、また同年6月には「ホテルトラスティ」7施設目となる「ホテルトラスティ金沢 香林坊」が新規開業したことで開業関連費用がかかったのに対し、当期はこれらのホテルが収益寄与したことなどにより増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (期初計画)	前年同期比	計画比
売上高	8,525百万円	9,473百万円	8,810百万円	+11.1%	+7.5%
セグメント利益	2,227百万円	2,174百万円	1,730百万円	△2.4%	+25.7%

メディカル事業におきましては、シニアライフ事業の拡大により売上高が増加したほか、会員数の増加に伴い年会費収入が増加しましたが、メディカル会員権の販売量が前年同期に比べ減少したことなどにより増収減益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (期初計画)	前年同期比	計画比
売上高	380百万円	817百万円	820百万円	+115.0%	△0.3%
セグメント利益	165百万円	308百万円	290百万円	+86.5%	+6.3%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発㈱においてオフィスビルの賃貸料収入が増加したことなどにより増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

第1四半期連結会計期間より会計方針の変更を行っているため、遡及処理後の数値で対比しております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は357,616百万円(前連結会計年度比18.9%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が34,565百万円、有価証券が13,952百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は267,862百万円(前連結会計年度比22.1%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、短期借入金が34,250百万円、長期借入金が17,414百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は89,753百万円(前連結会計年度比10.3%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が6,736百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は23.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月15日に直近の業績状況及び為替の影響を鑑み、業績予想を修正しております。詳細は同日リリースの「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※第1四半期連結会計期間より会計方針の変更を行っているため、遡及処理後の数値で対比しております。

平成27年3月期 通期連結業績予想数値(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (修正計画)	増減比	当連結会計年度 参考(期初計画)
売上高	116,824百万円	116,900百万円	+0.1%	114,600百万円
営業利益	15,190百万円	15,500百万円	+2.0%	15,200百万円
経常利益	16,830百万円	18,000百万円	+7.0%	15,900百万円
当期純利益	8,733百万円	11,200百万円	+28.2%	9,800百万円

通期業績見直しについては、2014年1月に販売開始した「エクシブ鳥羽別邸」の会員権販売を引き続き行うほか、

2014年10月より高級会員制リゾートホテル「エクシブ湯河原離宮」の開発着工及び会員権販売を開始しております。但し、これら未開業物件の不動産にかかる収益はホテル開業時まで繰延べられる一方で、為替差益を計上したことなどから、当社グループ全体として売上高 116,900百万円（前年同期比 0.1%増）、営業利益 15,500百万円（同 2.0%増）、経常利益 18,000百万円（同 7.0%増）、当期純利益 11,200百万円（同 28.2%増）と増収増益を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

平成26年7月25日に「Resorttrust Hawaii, LLC」（当社100%出資子会社）をハワイ州にて設立し、当第2四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

- ①「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が887百万円増加、退職給付に係る負債が377百万円減少し、利益剰余金は818百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17百万円増加しております。

- ②「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、当社から信託へ自己株式を処分した時点で処分差額を認識し、信託から従業員持株会に売却された株式に係る売却差損益、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を負債に計上しております。また、従業員に割り当てられたポイントに応じた株式数に、信託が自社の株式を取得したときの株価を乗じた金額を基礎として、費用及びこれに対応する引当金を計上しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の営業利益が93百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ107百万円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は188百万円減少しており、前連結会計年度末の預り金（固定負債のその他）及び資本剰余金は、それぞれ142百万円、684百万円増加し、株式給付引当金、利益剰余金及び自己株式が、それぞれ98百万円、101百万円、605百万円減少しております。

なお、信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度2,373百万円、2,153千株、当第2四半期連結会計期間2,293百万円、2,059千株であります。

また、総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額は、前連結会計年度279百万円、当第2四半期連結会計期間202百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,151	80,717
受取手形及び売掛金	5,979	4,867
営業貸付金	23,305	24,959
有価証券	15,698	29,650
商品	610	666
販売用不動産	5,845	3,393
原材料及び貯蔵品	899	901
仕掛販売用不動産	8,985	15,923
繰延税金資産	4,033	3,642
その他	3,039	5,629
貸倒引当金	△645	△734
流動資産合計	113,904	169,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,355	60,539
機械装置及び運搬具（純額）	2,146	2,009
コース勘定	11,036	11,036
土地	39,176	40,596
リース資産（純額）	2,538	2,531
建設仮勘定	2,303	3,456
その他（純額）	1,409	1,320
有形固定資産合計	119,967	121,490
無形固定資産		
のれん	359	301
ソフトウェア	791	644
その他	1,952	2,093
無形固定資産合計	3,104	3,039
投資その他の資産		
投資有価証券	49,889	49,053
関係会社株式	1,592	1,571
長期貸付金	1,357	1,291
退職給付に係る資産	225	1,109
繰延税金資産	1,441	497
その他	15,773	16,376
貸倒引当金	△6,483	△6,429
投資その他の資産合計	63,797	63,468
固定資産合計	186,869	187,998
資産合計	300,774	357,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	913	924
短期借入金	750	35,000
1年内返済予定の長期借入金	7,089	6,795
1年内償還予定の社債	1,675	600
リース債務	438	356
未払金	12,752	5,778
未払法人税等	4,594	4,066
未払消費税等	664	1,717
前受金	3,354	6,035
前受収益	9,346	8,905
債務保証損失引当金	150	171
その他	6,796	9,073
流動負債合計	48,523	79,425
固定負債		
社債	2,100	4,375
新株予約権付社債	15,064	15,057
長期借入金	37,893	55,601
リース債務	2,385	2,370
繰延税金負債	1,072	871
役員退職慰労引当金	1,997	2,064
株式給付引当金	158	398
退職給付に係る負債	1,038	702
長期預り保証金	103,924	101,014
負ののれん	583	523
その他	4,636	5,457
固定負債合計	170,855	188,436
負債合計	219,378	267,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,258	14,258
資本剰余金	14,653	14,658
利益剰余金	48,983	55,720
自己株式	△4,971	△4,710
株主資本合計	72,923	79,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,306	1,930
為替換算調整勘定	—	507
退職給付に係る調整累計額	159	155
その他の包括利益累計額合計	1,465	2,594
新株予約権	133	97
少数株主持分	6,872	7,136
純資産合計	81,395	89,753
負債純資産合計	300,774	357,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	57,743	59,603
売上原価	10,314	9,329
売上総利益	47,428	50,274
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	15,477	16,370
役員退職慰労引当金繰入額	131	66
修繕維持費	1,326	1,365
貸倒引当金繰入額	4	41
債務保証損失引当金繰入額	20	21
水道光熱費	2,615	2,747
減価償却費	2,476	2,603
その他	16,912	17,886
販売費及び一般管理費合計	38,965	41,103
営業利益	8,463	9,171
営業外収益		
受取利息	304	673
受取配当金	32	85
割賦利息及び手数料	1	1
負ののれん償却額	60	60
貸倒引当金戻入額	1,045	5
為替差益	1	2,012
その他	104	170
営業外収益合計	1,550	3,008
営業外費用		
支払利息及び社債利息	134	227
持分法による投資損失	1	20
前受金保証料	0	7
シンジケートローン手数料	15	302
控除対象外消費税等	126	39
その他	74	49
営業外費用合計	352	646
経常利益	9,661	11,533

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
特別利益		
受取補償金	64	53
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	439
関係会社株式売却益	7	5
新株予約権戻入益	0	14
その他	—	11
特別利益合計	72	525
特別損失		
固定資産除却損	10	21
固定資産売却損	1	—
出資金評価損	1,000	—
その他	0	0
特別損失合計	1,012	21
税金等調整前四半期純利益	8,720	12,036
法人税、住民税及び事業税	3,586	4,065
法人税等調整額	165	346
法人税等合計	3,752	4,411
少数株主損益調整前四半期純利益	4,968	7,624
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△43	103
四半期純利益	5,012	7,521

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,968	7,624
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	319	624
為替換算調整勘定	—	507
退職給付に係る調整額	—	△3
その他の包括利益合計	319	1,127
四半期包括利益	5,287	8,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,319	8,649
少数株主に係る四半期包括利益	△32	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,720	12,036
減価償却費	2,638	2,746
のれん及び負ののれん償却額	△2	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,051	35
退職給付引当金の増減額(△は減少)	137	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	127	66
受取利息及び受取配当金	△337	△758
支払利息及び社債利息	134	227
為替差損益(△は益)	△1	△1,912
売上債権の増減額(△は増加)	750	△534
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,207	△4,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△56	10
未払金の増減額(△は減少)	△1,770	△1,646
前受金の増減額(△は減少)	457	2,674
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△3,348	△3,015
未払消費税等の増減額(△は減少)	△314	1,193
その他	738	△1,027
小計	10,029	5,329
利息及び配当金の受取額	304	762
利息の支払額	△134	△217
法人税等の支払額	△2,425	△4,555
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,774	1,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,725	△215
定期預金の払戻による収入	775	265
有価証券の取得による支出	△25,494	△21,996
有価証券の売却及び償還による収入	29,900	17,109
投資有価証券の取得による支出	△9,777	△20,921
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,000	13,562
関係会社株式の取得による支出	△365	△0
関係会社株式の売却による収入	16	7
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,762	△3,890
貸付けによる支出	△32	△16
貸付金の回収による収入	2,019	66
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,373	—
その他	△3,401	△2,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,222	△18,554

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150	34,250
長期借入れによる収入	3,870	21,210
長期借入金の返済による支出	△4,747	△3,795
社債の発行による収入	15,047	2,487
社債の償還による支出	△550	△1,300
自己株式の取得による支出	△8	△2
自己株式の処分による収入	795	245
配当金の支払額	△1,468	△1,603
少数株主への配当金の支払額	△0	—
その他	2,180	1,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,267	53,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,820	38,651
現金及び現金同等物の期首残高	38,716	51,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,536	90,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,985	31,851	8,525	57,362	380	57,743
セグメント間の内部売上 高又は振替高	158	917	3	1,079	208	1,287
計	17,143	32,769	8,529	58,442	588	59,030
セグメント利益	2,921	3,149	2,227	8,298	165	8,463

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,298
「その他」の区分の利益	165
四半期連結損益計算書の営業利益	8,463

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、平成25年5月30日付でトラストグレイス(株)の株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては218百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,837	32,476	9,473	58,786	817	59,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	168	1,133	6	1,309	203	1,512
計	17,005	33,610	9,480	60,095	1,021	61,116
セグメント利益	3,058	3,629	2,174	8,863	308	9,171

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,863
「その他」の区分の利益	308
四半期連結損益計算書の営業利益	9,171

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「会員権事業」、「ホテルレストラン等事業」、「ゴルフ事業」及び「メディカル事業」の4つから、「会員権事業」、「ホテルレストラン等事業」及び「メディカル事業」の3つに変更しております。従来「ゴルフ事業」に含めておりましたゴルフ場のレストラン及びホテルに附帯したゴルフ場については「ホテルレストラン等事業」へ含め、ゴルフ場会員権及びゴルフ事業子会社のゴルフ場については「会員権事業」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、退職給付に関する会計基準等を適用したことに伴い、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。

この結果、従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は17百万円増加しております。なお、各報告セグメントへの影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用したことに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益は遡及処理後の数値になっております。

この結果、従来の方法に比べて前第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、会員権事業で42百万円、ホテルレストラン等事業で34百万円、メディカル事業で16百万円、その他で0百万円、それぞれ増加しております。

(重要な後発事象)

(子会社における重要な固定資産の取得)

当社は、米国ハワイ州で事業展開を行うため、平成26年7月25日に「Resorttrust Hawaii, LLC」(当社100%出資子会社)をハワイ州にて設立しました。また、平成26年7月31日付けで、「ザ・カハラ・ホテル&リゾート」(ハワイ州ホノルル市)を取得するため、「カハラ・ホテル・インベスターズLLC」と停止条件付売買契約を締結していましたが、平成26年10月14日(現地時間)付けで、「Resorttrust Hawaii, LLC」が当該固定資産を290,000千米ドルで取得いたしました。

(重要な借入)

当社は、平成26年9月12日開催の取締役会決議に基づき、株式会社みずほ銀行をアレンジャー兼エージェント、株式会社三菱東京UFJ銀行をコ・アレンジャーとするシンジケート・ローン契約を締結し、平成26年10月2日付で借入を実行しました。

1. 資金用途 : ホテル開発等のための長期資金
2. 借入先 : 株式会社みずほ銀行、株式会社三菱東京UFJ銀行
3. 借入金額 : 15,000百万円
4. 契約締結日 : 平成26年9月30日
5. 借入実行日 : 平成26年10月2日
6. 返済期日 : 平成33年9月30日
7. 担保提供資産: なし
8. 財務制限条項:
 - ①貸借対照表(連結ベース)の純資産の部の金額を平成26年3月決算期末日における貸借対照表(連結ベース)の純資産の部の金額の80%以上に維持すること。
 - ②貸借対照表(単体ベース)の純資産の部の金額を平成26年3月決算期末日における貸借対照表(単体ベース)の純資産の部の金額の80%以上に維持すること。
 - ③損益計算書(連結ベース)上の経常損益につき、2期連続して損失を計上しないこと。
 - ④損益計算書(単体ベース)上の経常損益につき、2期連続して損失を計上しないこと。

4. 補足情報

営業内容(販売実績、稼働率等)を補足情報として添付しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、遡及処理後の数値で前年同期比較を行っております。

また、当社グループは第1四半期連結会計期間において報告セグメントを変更しております。前年同期比較に当たっては変更後のセグメント区分で記載しております。なお、「セグメント情報」に関する詳細は「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)【セグメント情報】」の「4 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(1) 販売実績

区 分			H25/9 (前期実績)		H26/9 (当期実績)	
			数 量	金額 (百万円)	数 量	金額 (百万円)
会 員 権 事 業	ホ テ ル 会 員 権	登 録 料 売 上	2,167口	5,636	2,723口	7,497
		不 動 産 売 上	1,674口	7,077	1,268口	5,567
		計		12,713		13,064
	ゴ ル フ	登 録 料 収 入	593口	403	413口	293
	ゴ ル フ	場 売 上		1,494		1,443
	ゴ ル フ	年 会 費 収 入		217		228
	ゴ ル フ	保 証 金 償 却 収 入		49		48
	そ の 他			2,106		1,757
	小	計		16,985		16,837
ホ テ ル レ ス ト ラ ン 等 事 業	料 飲 売 上		12,316		12,525	
	宿 泊 料 売 上		8,230		8,774	
	施 設 付 帯 売 上		2,764		2,628	
	附 帯 ゴ ル フ 場 売 上		1,638		1,708	
	運 営 管 理 費 収 入		3,239		3,315	
	保 証 金 償 却 収 入		1,452		1,429	
	そ の 他		2,209		2,095	
	小	計		31,851		32,476
メ デ ィ カ ル 事 業	登 録 料 収 入	1,362口	2,840	1,295口	2,682	
	医 療 用 機 器 等 賃 貸 料		472		446	
	年 会 費 収 入		1,573		2,146	
	保 証 金 償 却 収 入		743		709	
	シ ニ ア レ ジ デ ン ス 収 入		2,111		2,530	
	そ の 他		784		956	
	小	計		8,525		9,473
そ の 他	賃 貸 料 収 入		346		796	
	そ の 他		33		20	
	小	計		380		817
合 計				57,743		59,603

- (注) 1. 数量欄に記載のないものについては、取扱品目が多岐にわたり記載が困難なため記載しておりません。
2. 会員権事業のその他は、会員権の解約合意金と営業貸付金利息収入等であります。
3. ホテルレストラン等事業のその他は、ローズルーム名古屋・大阪（レストラン）2店舗の売上高、名義書換料、受託レストランの売上高、ワンダーネット事業の売上高、通販収入、旅行部門の売上高、清掃業売上高、ヘアアクセサリ等の製造・販売及びトータルビューティー事業の売上高等であります。
4. メディカル事業のその他は、会員権の解約合意金、営業貸付金利息収入、サブリース物販売売上高、クリニック受託料収入等であります。
5. その他のその他は、営業貸付金利息収入、別荘管理料等であります。
6. 上記の金額は、連結消去後の数値であります。
7. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 契約実績

会員権事業のホテル会員権の契約実績は次の通りであります。

(単位 百万円)

区 分	H25/9 (前期実績)				H26/9 (当期実績)			
	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高
登録料部分	-	5,636	5,636	-	-	7,497	7,497	-
不動産部分	-	7,077	7,077	-	3,660	8,858	5,567	6,951
保証金部分	-	1,357	-	-	-	2,059	-	-
その他①	-	1,716	1,716	-	-	1,345	1,345	-
小計	-	15,787	14,429	-	3,660	19,760	14,410	6,951
その他②	-	-	2,555	-	-	-	2,427	-
計	-	15,787	16,985	-	3,660	19,760	16,837	6,951

- (注) 1. 「その他①」は、主に会員権の解約合意金であります。
 2. 「その他②」は、主にゴルフ場子会社の販売実績及び営業貸付金利息収入等であります。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) ホテル別 売上高・消費単価

		売上高 (百万円)		消費単価 (円)	
		H25/9 (前期実績)	H26/9 (当期実績)	H25/9 (前期実績)	H26/9 (当期実績)
エ ク シ ブ	エクシブ有馬離宮	2,006	1,999	22,992	22,989
	エクシブ箱根離宮	1,775	1,798	20,591	20,412
	エクシブ京都八瀬離宮	1,771	1,842	19,599	19,758
	エクシブ那須白河	580	606	28,282	29,136
	エクシブ浜名湖	1,138	1,235	17,831	18,403
	エクシブ初島クラブ	946	950	17,902	18,379
	エクシブ鳴門&SV&SVII	859	867	14,507	14,843
	エクシブ蓼科	1,129	1,086	16,463	16,735
	エクシブ琵琶湖	1,303	1,294	17,559	17,342
	エクシブ山中湖&SV	1,294	1,317	16,577	16,507
	エクシブ淡路島	327	319	13,254	12,835
	エクシブ軽井沢&SV&パセラ&SV&パセラ	1,317	1,323	15,086	15,145
	エクシブ白浜&アネックス	801	785	11,981	11,866
	エクシブ伊豆	483	463	10,706	10,614
	エクシブ鳥羽&アネックス	1,195	1,064	12,701	13,119
	エクシブ小計	16,931	16,955	16,939	17,141
サ ン メ ン バ ー ズ	サンメンバーズリゾート	1,442	1,567	12,474	12,540
	サンメンバーズシティ	731	780	6,025	6,196
	サンメンバーズ小計	2,173	2,347	9,172	9,355
ト ラ ス テ ィ	トラスティ金沢香林坊	159	378	9,233	8,848
	トラスティ大阪阿倍野	391	450	8,819	9,579
	トラスティ神戸旧居留地	269	291	9,001	9,307
	トラスティ東京ベイサイド	364	362	8,121	8,294
	トラスティ心斎橋	497	515	10,999	10,996
	トラスティ名古屋栄	306	296	7,307	7,315
	トラスティ名古屋	297	300	6,311	6,313
	トラスティ小計	2,285	2,594	8,444	8,656
BCC	東京ベイコート倶楽部	1,919	2,030	32,417	32,283
ホテル合計		23,310	23,928	—	—

※1. 「BCC」は「ベイコート倶楽部」の略称であります。

※2. 「SV」は、「サンクチュアリ・ヴィラ」の略称であります。

※3. 「トラスティ金沢香林坊」は、平成25年6月9日に開業しております。

(4) ホテル別 宿泊客数・室稼働率

		宿泊客数 (人)		室稼働率 (%)	
		H25/9 (前期実績)	H26/9 (当期実績)	H25/9 (前期実績)	H26/9 (当期実績)
エクシブ	エクシブ有馬離宮	87,277	86,966	90.0	91.4
	エクシブ箱根離宮	86,210	88,127	88.2	90.7
	エクシブ京都八瀬離宮	90,388	93,231	80.2	83.2
	エクシブ那須白河	20,535	20,799	66.7	70.5
	エクシブ浜名湖	63,848	67,108	58.6	63.1
	エクシブ初島クラブ	52,880	51,729	47.8	46.9
	エクシブ鳴門&SV&SVⅡ	59,229	58,460	58.3	57.9
	エクシブ蓼科	68,618	64,944	55.9	53.5
	エクシブ琵琶湖	74,242	74,666	50.4	51.2
	エクシブ山中湖&SV	78,071	79,800	55.4	57.5
	エクシブ淡路島	24,736	24,893	45.3	45.5
	エクシブ軽井沢&SV&ハセ&SVムササビ	87,304	87,361	61.2	61.7
	エクシブ白浜&アネックス	66,878	66,198	48.9	49.0
	エクシブ伊豆	45,193	43,693	38.5	37.0
	エクシブ鳥羽&アネックス	94,135	81,163	46.6	40.9
エクシブ小計	999,544	989,138	57.9	57.8	
サンメンバーズ	サンメンバーズリゾート	115,652	124,977	49.1	51.2
	サンメンバーズシティ	121,333	125,972	75.2	77.8
	サンメンバーズ小計	236,985	250,949	62.4	64.5
トラスティ	トラスティ金沢香林坊	17,266	42,795	53.1	84.7
	トラスティ大阪阿倍野	44,341	46,994	92.4	93.5
	トラスティ神戸旧居留地	29,968	31,300	92.0	95.8
	トラスティ東京ベイサイド	44,865	43,676	85.9	84.0
	トラスティ心齋橋	45,246	46,867	93.7	93.5
	トラスティ名古屋栄	41,920	40,546	91.9	89.2
	トラスティ名古屋	47,098	47,562	85.0	84.7
	トラスティ小計	270,704	299,740	86.3	88.9
BCC	東京ベイコート倶楽部	59,224	62,901	45.0	49.2
ホテル合計		1,566,457	1,602,728	—	—